

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-226376

(43)Date of publication of application : 02.09.1997

(51)Int.Cl.

B60J 5/00

(21)Application number : 08-042378

(71)Applicant : KINUGAWA RUBBER IND CO LTD

(22)Date of filing : 29.02.1996

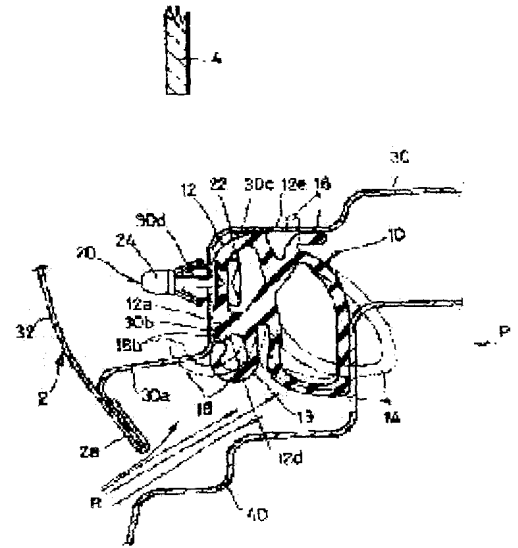
(72)Inventor : FUJIHIRA JUNICHI

(54) DOOR WEATHER STRIP OF DOOR FOR AUTOMOBILE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To install a same sectional shape door weather strip along an overall circumference on a door marginal part for an automobile.

SOLUTION: It is furnished with an installation base part 12 having a panel contact surface 12a of specified width, a hollow seal part 14 diagonally projected from the installation base part 12 and an outer lip 18 projected sideward from a side surface of the installation base part 12, extending in such a way to cross a production of the panel contact surface 12a and having a roughly semicircular sectional shape with a side end of the panel contact surface 12a roughly as a center. The panel contact surface 12a makes contact with a base part installation surface 30b in parallel with a door glass 4 on a door side edge part, and the outer lip 18 is elastically deformed and forms a roughly ring hollow block part 19.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

01.11.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

12.04.2005

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

全項目

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
 (12)【公報種別】公開特許公報(A)
 (11)【公開番号】特開平9-226376
 (43)【公開日】平成9年(1997)9月2日
 (54)【発明の名称】自動車用ドアのドアウェザーストリップ
 (51)【国際特許分類第6版】

B60J 5/00 501

【FI】

B60J 5/00 501 M

【審査請求】未請求

【請求項の数】5

【出願形態】OL

【全頁数】8

(21)【出願番号】特願平8-42378

(22)【出願日】平成8年(1996)2月29日

(71)【出願人】

【識別番号】000158840

【氏名又は名称】鬼怒川ゴム工業株式会社

【住所又は居所】千葉県千葉市稲毛区長沼町330番地

(72)【発明者】

【氏名】藤平 淳一

【住所又は居所】千葉県千葉市稲毛区長沼町330番地 鬼怒川ゴム工業株式会社内

(74)【代理人】

【弁理士】

【氏名又は名称】志賀 富士弥(外2名)

(57)【要約】

【課題】同一断面形状のドアウェザーストリップを自動車用ドア周縁部に全周にわたって取り付け。

【解決手段】一定幅のパネル当接面12aを有する取付基部12と、取付基部12から斜めに突出する中空シール部14と、取付基部12の側面から側方へ突出するとともに、パネル当接面12aの延長線を横切るように延び、かつパネル当接面12aの側端をほぼ中心とする略半円形の断面形状を有するアウタリップ18とを備える。ドア側縁部では、パネル当接面12aはドアガラス4と平行な基部取付面30bに当接し、アウタリップ18は弾性変形してほぼ環状の中空ブロック部19を形成する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】自動車用ドアの周縁部にほぼ全周にわたって取り付けられ、かつ全長が同一断面形状に押出成形されてなるドアウェザーストリップであって、ドアパネルに当接する一定幅のパネル当接面を有する取付基部と、この取付基部から斜めに突出し、かつドア閉時に車体パネルに圧接する中空シール部と、前記取付基部の中空シール部に覆われる側の側面から側方へ突出するとともに、前記パネル当接面の延長線を横切るように延び、かつ前記パネル当接面の側端をほぼ中心とする略半円形の断面形状を有するアウタリップとを備えることを特徴とする自動車用ドアのドアウェザーストリップ。

【請求項2】前記パネル当接面に当接する前記車体パネルの基部取付面が、ドアガラスとほぼ平行であることを特徴とする請求項1に記載の自動車用ドアのドアウェザーストリップ。

【請求項3】前記アウタリップは、ドア上縁部では、前記基部取付面から車外側に折曲するドアパネルのコーナ部を覆うように延びており、またドア下縁部およびドア側縁部では、その先端が取付基部の側部に当接するように略環状に弾性変形し、ドア閉時に中空シール部に隣接することを特徴とする請求項2に記載の自動車用ドアのドアウェザーストリップ。

【請求項4】ドア下縁部およびドア側縁部では、クリップを介して前記車体パネルに固定され、ドア上縁部では、前記車体パネルに固定されたリテーナに前記取付基部が嵌合、係止されることを特徴とする請求項1に記載の自動車用ドアのドアウェザーストリップ。

【請求項5】ドア上縁部では、前記リテーナと車体パネルとの結合部の上縁に沿ってペイントシールが塗布され、前記アウタリップが、前記ペイントシールが塗布された部分全体を覆っていることを特徴とする請求項4に記載の自動車用ドアのドアウェザーストリップ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車用ドアの周縁部に取り付けられるドアウェザーストリップの改良に関する。

【0002】

【従来の技術】図7に示すように、プレスドアタイプのフロントドア100の周縁部には、車体開口部との間をシールするドアウェザーストリップ102が取り付けられている。

【0003】このドアウェザーストリップ102は、別々に押出成形された異なる断面形状のスポンジゴム製の押出部104、106を有し、両者の突き合わされた端部がコーナー部108、110の2カ所で周知の型成形により連結され、ドア周縁部に沿った環状に形成されている。

【0004】ドア上縁部に取り付けられる押出部104は、図8に示すように、フロントドア100のインナパネル112にリテーナ122を介して固着される取付基部114と、この取付基部114より一体に立設されてドア閉時に車体パネル124に圧接する中空シール部116と、取付基部114からドア外周側に延びてインナパネル112に当接するアウタリップ118とから概略構成される。なお、図8、9では各部の自由状態の形状を示している。

【0005】一方、ドア側縁部からドア下縁部にわたって取り付けられる押出部106は、図9に示すように、上記押出部104と同様に取付基部126と中空シール部128とアウタリップ130とから概略構成され、クリップ132を介してインナパネル112に固着されている。

【0006】この押出部106は、各部位で十分なシール性等を確保するために、上記押出部104とは断面形状や取付方向が異なるものとなっている。例えば、ドア上縁部に位置する押出部104は、ドアガラス120にほぼ平行な面112aにリテーナ122を介して取り付けられているが、この押出部106は、ドアガラス120にほぼ直角な面112bを取付面として取り付けられている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のドアウェザーストリップ102にあっては、断面形状の異なる2つの押出部104、106を個々に押出成形し、更にこれら押出部104、106を2カ所で型成形により連結する必要があるため、製造工程が煩雑で製造コストも高くなる。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明では、全長が同一断面形状に押出成形されたドアウェザーストリップを自動車用ドアの周縁部に全周にわたって取り付け得るようにした。

【0009】すなわち本発明に係るドアウェザーストリップは、ドアパネルに当接する一定幅のパネル当接面を有する取付基部と、この取付基部から斜めに突出し、かつドア閉時に車体パネルに圧接する中空シール部と、上記取付基部の中空シール部に覆われる側の側面から側方へ突出するとともに、上記パネル当接面の延長線を横切るように延び、かつ上記パネル当接面の側端をほぼ中心とする略半円形の断面形状を有するアウタリップとを備えることを特徴としている。

【0010】本発明のドアウェザーストリップは、その先端と後端とを一カ所で型成形等により連結するのみでドア周縁部に沿った環状の形状となり、ドア周縁部の全周にわたって良好に取り付けることができる。

【0011】ドアウェザーストリップは、アウタリップがドア外周側に向いた姿勢で、そのパネル当接面がドアガラスにほぼ平行な取付面に当接するように取り付けことができ、このとき、中空シール部はドア外周側に傾いた状態で車内側に突出し、ドア閉時に車体パネルに良好に圧接する。

【0012】ドア取付状態においては、アウタリップは、取付部位に応じて異なる形状をしている。例えばドア下縁部およびドア側縁部では、ドアパネル側の基部取付面をパネル当接面よりドア外周側に延長しておくことにより、アウタリップの先端側が基部取付面に押されて弾性変形し、その先端が取付基部の側部に当接した略環状をなす。このように環状に丸まったアウタリップは、ドア閉時において中空シール部背部に隣接し、中空シール部の過度な変形を規制するようになっている。また、ドア上縁部では、その先端が基部取付面から車外側に折曲するドアパネルのコーナー部を覆うように延びており、パネル当接面と基部取付面との接合部分を覆ってこの部分をシールすることになる。

【0013】ドアウェザーストリップは、周知のクリップやリテーナ等を介して車体パネルに固定される。一例として、ドア上縁部では取付基部がリテーナに嵌合、係止され、それ以外の部分ではクリップにより固定される。また、上記リテーナと車体パネルとの間にペイントシールが塗布されている場合、アウタリップによりペイントシールが塗布さ

れた部分全体を覆うように構成すれば、ペイントシールが外部に露出して美観を損ねるのを防止できる。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好ましい実施の形態を図面に基いて説明する。

【0015】図2は、自動車のフロントドア2の側面図で、プレスドアタイプのフロントドア2の周縁部には、本発明の第1実施例に係るドアウェザーストリップ10が全周にわたって取り付けられている。

【0016】ドアウェザーストリップ10は、同一断面形状でスポンジゴムにより各部一体に押出成形されてなるもので、その先端と後端がフロントドア2のコーナー部6で型成形により連結されることにより、フロントドア2の周縁に沿う環状に形成される。

【0017】図1は、ドアウェザーストリップ10の自由状態での断面形状を示す。

【0018】ドアウェザーストリップ10は、一定幅のパネル当接面12aを有する取付基部12と、この取付基部12のパネル当接面12aと反対側から斜めに突出し、ドア閉時に車体開口部に圧接する中空シール部14と、取付基部12の中空シール部14に覆われる側(図1において左側)の側面から円弧状に突出するアウタリップ18と、取付基部12のアウタリップ18とは反対側の側面から側方に突出するインナリップ16とにより概略構成されている。これら各部12、14、16、18は、前述したように同一断面で長手方向に延長されている。

【0019】取付基部12は、中空部12bを有する略筒状に形成され、この中空部12bからパネル当接面12aに貫通する貫通孔12cが、長手方向の所定間隔毎に多数形成されている。この貫通孔12cを介して、後述する取付用のクリップの頭部が中空部12b内に嵌め込まれる。なお、この貫通孔12cは、上記押出成形後に二次的に加工されている。

【0020】取付基部12のアウタリップ18側(図1において左側)の側部には、アウタ突出部12dが形成される。このアウタ突出部12dは、図において僅かに下方に突出している。一方、取付基部12のアウタ突出部12dと反対側の側部は、パネル当接面12aから中空シール部14側に滑らかに湾曲しているとともに、この湾曲部に連続して、側方に部分的に突出するインナ突出部12eを有している。

【0021】中空シール部14は、略楕円状の空間部14aを囲む薄肉環状に形成され、アウタリップ18側に傾斜しつつパネル当接面12aから反対側に起立している。なお、中空シール部14とインナリップ16基部との結合部において、中空シール部14がアウタリップ18側に良好に倒れ込むように中空シール部14の内周面に部分的に薄肉部が設けられている。

【0022】インナリップ16は、取付基部12のインナ突出部12eから略V字形の凹部17aを挟んで側方に突出している。このインナリップ16は、中空シール部14側に良好に倒れ込むように、取付基部12との結合部付近で中空シール部14側が薄肉となっている。

【0023】アウタリップ18は、その断面形状がパネル当接面12aのアウタリップ18側の側端Oを中心とした略半円形となっている。すなわちアウタリップ18は、パネル当接面12aから中空シール部14側に所定量離れた結合部18aで取付基部12に結合されており、この結合部18aから側端Oを中心として一定幅で円弧状に湾曲している。そしてアウタリップ18は、パネル当接面12aの延長線L上を横切って延び、その先端18bが、上記延長線Lを中心として結合部18aとほぼ対称となる位置まで延びている。なお、アウタリップ18と中空シール部14との間には凹部17bが形成されている。

【0024】図3～図5は、それぞれドア下縁部、ドア側縁部およびドア上縁部の断面図で、これらの図を参照してドアウェザーストリップ10の取付構造を説明する。なお、これらの図において各部材の自由状態の形状を二点鎖線で示す。

【0025】各図に示されるように、フロントドア2を構成するインナパネル30とアウタパネル32は、全周にわたって外周フランジ2aでヘミング結合されている。インナパネル30は、ドア閉時に対向する車体パネル側の形状に対応して適宜折曲している。そしてドアウェザーストリップ10が取り付けられるインナパネル30の基部取付面30bは、ドア外縁の全周にわたってドアガラス4とほぼ平行となっている。

【0026】ドアウェザーストリップ10は、アウタリップ18がドア外周側に向かった姿勢で、そのパネル当接面12aが基部取付面30bにクリップ20またはリテーナ60を介して接合されている。中空シール部14は、ドア外周側に傾きつつ車室内側に起立した姿勢となっており、ドア閉時にドア開口部に圧接する。そしてアウタリップ18は、その取付部位の形状によって取付時に適宜変形している。

【0027】まず図3を参照してドア下縁部におけるドアウェザーストリップ10の取付構造を詳細に説明する。

【0028】この部分のインナパネル30は、ドア閉時に対向するサイドシル40の形状に応じて階段状に折曲している。すなわちインナパネル30は、外周フランジ2aから車室内側に折曲するドア外周側パネル面30aと、このドア外周側パネル面30aから車体上側にほぼ直角に折曲する基部取付面30bと、この基部取付面30bから更に車室内側にほぼ直角に折曲したドア内方側パネル面30cとを有する。ドアウェザーストリップ10が取り付けられる基部取付面30bは、ドアガラス4にほぼ平行で、かつドアウェザーストリップ10のパネル当接面12aより幅方向に長くなっている。

【0029】ドアウェザーストリップ10の取付方法を説明すると、パネル当接面12aが基部取付面30bに対向する形で、予めドアウェザーストリップ10に取り付けられたクリップ20を、基部取付面30bに形成された取付孔30dにクリップ20のキャップ24側から挿入する。そしてドアウェザーストリップ10を矢印Pの方向に強く押し込む。これによりクリップ20の先端側がインナパネル30内に挿入されてインナパネル30の両側に係合し、ドアウェザーストリップ

プ10が基部取付面30bに固着される。

【0030】取付後のドアウェザーストリップ10にあっては、アウタリップ18がドア外周側に配置され、中空シール部14が図の想像線で示すごとくドア外周側に傾きつつ車内側に起立した姿勢となる。パネル当接面12aは、ほぼ全面でインナパネル30の基部取付面30bに当接し、特にアウタ突出部12dでは強く圧接する。またドア内方側のインナ突出部12eは、ドア内方側パネル面30cに強く圧接する。一方、インナリップ16は、取付時に車内側に反り返り、その先端がドア内方側パネル面30cに弾接する。このように各部がインナパネル30に圧接することにより、取付時やドア閉時等に中空シール部14が過度に傾くことなく正しい姿勢をとるようになっている。

【0031】アウタリップ18は、取付時においてパネル当接面12aよりドア外周側に延長する基部取付面30bに正面から当接し、その先端18b側が持ち上げられるようにして弾性変形する。そして取付後のアウタリップ18は、基部取付面30bに当接するとともに、その先端18bがアウタ突出部12dの側面に当接し、環状に丸まった形となる。これにより取付基部12の側部と合わせて略環状の中空ブロック部19が形成される。この中空ブロック部19は、取付基部12からドア外周側に張り出しており、ドア閉時に中空シール部14背部に極めて近接し、または当接する。

【0032】フロントドア2を閉めた際、中空シール部14がサイドシル40に押圧されて図の実線で示す形状に弾性変形される。この状態で、例えば図の矢印Rで示すように、洗車等による強圧水が中空シール部14に衝突した場合には、中空ブロック部19すなわち環状を呈するアウタリップ18により中空シール部14が背部から支持されるため、この中空シール部14がサイドシル40から浮き上がることがなく、そのシール性の低下が防止される。

【0033】また、取付誤差等に起因してドア閉時に中空シール部14と中空ブロック部19とが衝突することがあっても、この中空ブロック部19の空間部がつぶれるように弾性変形し得る。したがって中空シール部14による反力が急激に増加することはなく、良好なドア閉じ性が得られる。

【0034】次に図4を参照してドア側縁部におけるドアウェザーストリップ10の取付構造を詳述する。なお、以下の説明で図3に示す各部と重複する構成には同一参照符号を付して適宜説明を省略する。

【0035】この部分のフロントドア2の内周フランジ2b、2b間にはサッシュパネル36が設けられ、このサッシュパネル36は、両内周フランジ2b、2bでそれぞれインナパネル30とアウタパネル32に結合されている。サッシュパネル36は、車体前方に向けて断面略コ字状に形成され、ドアガラス4は、このサッシュパネル36を覆うように取り付けられたグラスラン(図示せず)によりシールされる。

【0036】フロントドア2のアウタパネル32は、ドア閉時においてリアドア44のアウタパネルとほぼ面一となっており、フロントドア2の外周フランジ2aとリアドア44の前端との間には間隙が形成されている。

【0037】このドア側縁部においても、ドアウェザーストリップ10は、ドア下縁部と同様、ドアガラス4と平行なインナパネル30の基部取付面30bにクリップ20を介して取り付けられている。そしてドア閉時に中空シール部14が車体パネルとしてのセンターピラー42に圧接するようになっている。なお、このドア側縁部では、取付位置のスペース上の関係で、短いクリップ20が用いられている。

【0038】アウタリップ18は、上記ドア下縁部と同様、基部取付面30bに当接して環状に丸まった形となり、取付基部12の側部と合わせて略環状の中空ブロック部19が形成される。そして中空ブロック部19は、ドア閉時に中空シール部14背部に極めて近接し、または当接する。

【0039】ところで図9を参照して、センターピラー42部分では、一般に、フロントドア100の外周フランジ100aとリアドア134の車体前端との間の間隙をシールするパーティングシール136が設けられ、洗車等の強圧水の進入を防ぐようになっている。しかし本実施例では、アウタリップ18で形成される中空ブロック部19により中空シール部14が支持され、中空シール部14のドア外方側への過度な変形が防がれているため、パーティングシール136の省略が可能である。

【0040】次に図5を参照してドア上縁部におけるドアウェザーストリップ10の取付構造を説明する。

【0041】まずドア上縁部に対向する車体側の構成を説明すると、車体パネル46のドア開口縁に形成されたフランジ46aにはボディサイドウェザーストリップ48が取り付けられ、このボディサイドウェザーストリップ48とドアウェザーストリップ10とにより車体開口部とフロントドア2との間を二重にシールしている。また車体パネル46の上方には車外側に張り出した桶状のドリップチャンネル50が固定され、このドリップチャンネル50の先端には、ドリップウェザーストリップ52が取り付けられている。

【0042】一方、フロントドア2の両内周フランジ2b、2b間にはサッシュパネル36が固定され、このサッシュパネル36にドアガラス4をシールするグラスラン38が取り付けられている。

【0043】インナパネル30は、ドア上縁から湾曲して車室内側へ延びたドア外周側パネル面30aと、このドア外周側パネル面30aから車体下方へ延び、かつドアガラス4にほぼ平行な基部取付面30bと、この基部取付面30bからほぼ直角に車室内側へ折曲するドア内方側パネル面30cとを有する。なお、この上縁部では、基部取付面30bの幅がドア側縁部やドア下縁部より短くなっており、パネル当接面12aとほぼ同じ長さとなっている。

【0044】インナパネル30には、ドアウェザーストリップ10を固定する長尺なりテーナ60が予め固定されている。リテーナ60は、ドア内方側パネル面30cから基部取付面30bに沿う断面略L字状の基部60aと、基部60aの両端で更に内方に折曲する折曲部60b、60bとを有し、全体として取付基部12を囲う形状となっている。

【0045】リテーナ60とインナパネル30との接合面の上縁には、両者の間隙部分に雨水等が進入するのを確実に防ぐペイントシール62が塗布されている。ところで基部取付面30bは、固定された基部60aとほぼ同じ長さとな

っている。したがってインナパネル30のドア外周側パネル面30aは、リテーナ60とインナパネル30との接合部分の上縁から直ちに車外側に折曲している。

【0046】取付の際には、ドアウェザーストリップ10を矢印Pの方向に押し込むことにより、取付基部12がリテーナ60の折曲部60b、60bを乗り越え、これら折曲部60b、60bが取付基部12の両側に形成された凹部17a、17bに嵌合するとともに、取付基部12全体がリテーナ60内に嵌合する。このとき、パネル当接面12aはリテーナ60の底面に当接し、インナ突出部12eはリテーナ60の内側面に圧接する。

【0047】アウタリップ18は、リテーナ60の側部を越えて円弧状に延びており、その先端がドア外周側パネル面30a上に当接している。すなわちアウタリップ18は、ドア外周側パネル面30aに乗り上げて、ペイントシール62が塗布されたインナパネル30のコーナ一部30e全体を円弧状に覆っている。

【0048】以上詳述したように、本実施例にあっては、全長が同一断面形状に押出成形されたドアウェザーストリップ10をフロントドア2の周縁部に全周にわたって取り付け得るようにしたため、その製造も容易で製造コストも低く抑えることができる。

【0049】そして略半円形の断面形状を有するアウタリップ18が、取付部位の形状に応じて適宜変形するようになっている。例えばドア側縁部やドア下縁部のように基部取付面30bがパネル当接面12aよりドア外周側に延長している部分では、中空ブロック部19を形成するように弾性変形して中空シール部14を支持し、洗車等の強圧水が衝突した場合でも中空シール部14が車外側に過度に変形して車体パネルとのシール性が劣化するのを確実に防止している。

【0050】また、ドア上縁部のように基部取付面30bがリテーナ60上縁から直ちに車外側に折曲している部分では、このアウタリップ18がドア外周側パネル面30a上に延び、ペイントシール62が塗布されたリテーナ60と基部取付面30bとの結合部の上縁全体を覆うようにこの部分をシールしている。したがってこの結合部に雨水等が進入することが確実に防がれるとともに、ペイントシール62が外部に露出して外観を損ねることもない。

【0051】なお、本実施例のドアウェザーストリップ10においては、ドア上縁部でリテーナを介して基部取付面30bに取り付けられていたが、図6に示すように、ドア上縁部でも、ドア側縁部やドア下縁部と同様にクリップ20により車体側に取り付けるようにしてもよい。

【0052】ここではドア上縁部における基部取付面30bの幅が、パネル当接面12aの幅とほぼ同じ長さになっており、インナパネル30は、取付基部12上縁から車外側へ折曲してドア外周側パネル面30aとなっている。したがってアウタリップ18は、その先端が基部取付面30bから車外側に折曲するドア外周側パネル面30aに当接し、コーナ一部30eを円弧状に覆っている。これによりインナパネル30とパネル当接面12aとの接合部上縁を覆い、この部分がシールされて雨水等の進入が確実に防止される。

【0053】

【発明の効果】以上のように、本発明では、全長が同一断面形状に押出成形されたドアウェザーストリップを自動車用ドアの周縁部にほぼ全周にわたって取り付け得るようにしたため、製造も容易で製造コストも低く抑えることができる。

【0054】また本発明では、アウタリップをパネル当接面の側端をほぼ中心とする略半円形の断面形状としたため、アウタリップが取付部の形状に応じて所望の形状に適宜弾性変形する。例えばドア側縁部やドア下縁部では、アウタリップが環状に丸まった形となり、ドア閉時に中空シール部を背部から支持するため、洗車水等が強く当たった際の中空シール部の浮き上がりを確実に防止する。またドア上縁部では、アウタリップが円弧状に延びた形で取付基部上縁を覆うようにすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例に係るドアウェザーストリップの自由状態における断面図。

【図2】図1のドアウェザーストリップが適用された自動車の側面図。

【図3】図2のIII－III線に沿う断面図。

【図4】図2のIV－IV線に沿う断面図。

【図5】図2のV－V線に沿う断面図。

【図6】ドアウェザーストリップの他の取付構造を示す図5に対応する断面図。

【図7】従来のドアウェザーストリップが適用された自動車の側面図。

【図8】図7のVIII－VIII線に沿う断面図。

【図9】図7のIX－IX線に沿う断面図。

【符号の説明】

2…フロントドア

4…ドアガラス

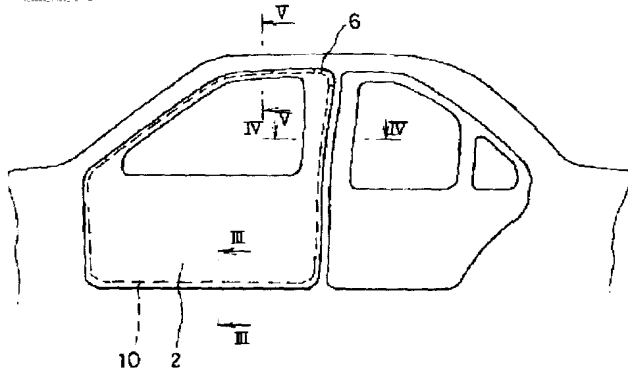
10…ドアウェザーストリップ

12…取付基部

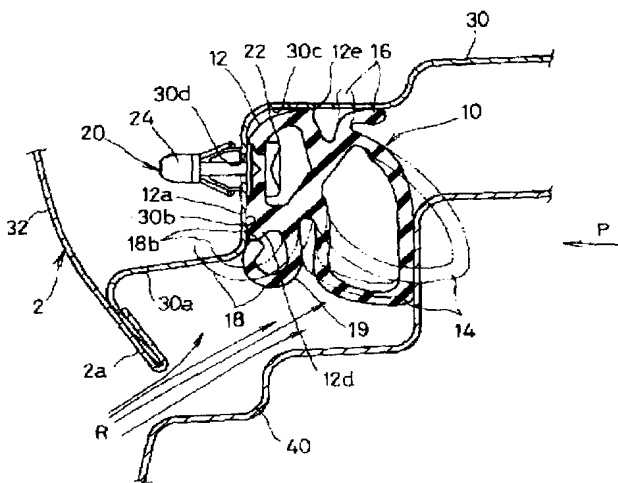
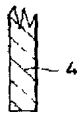
12a…パネル当接面

12b…中空部
 14…中空シール部
 18…アウタリップ
 19…中空ブロック部
 20…クリップ
 30…インナパネル
 30b…基部取付面
 60…リテーナ
 O…側端

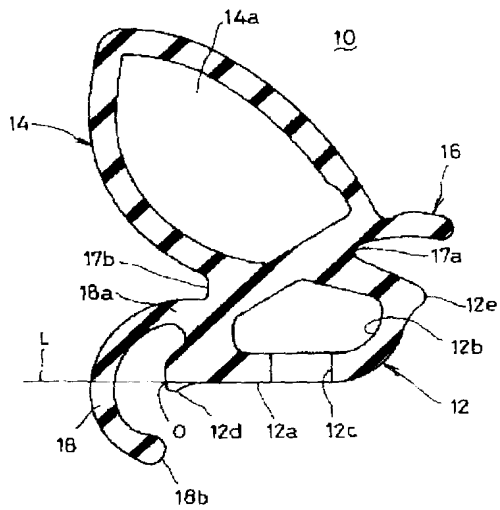
【図2】



【図3】

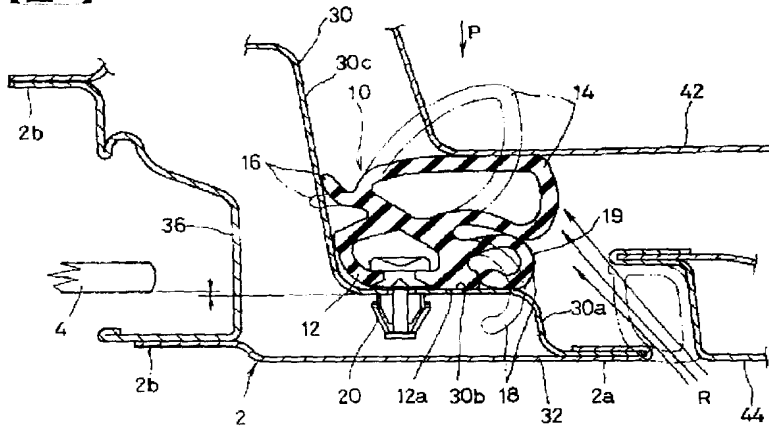


【図1】

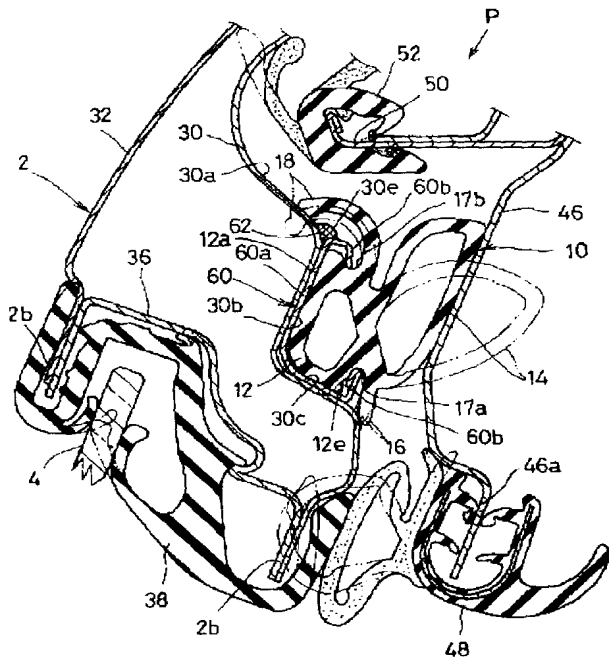


- 2…フロント面
 4…ドアガラス
 10…ドアウェザーストリップ
 12…取付基部
 12a…パネル当接面
 12b…中空部
 14…中空シール部
 18…アウトリップ
 19…中空ブロック部
 20…クリップ
 30…インナパネル
 30b…基部取付面
 60…リテーナ
 O…側端

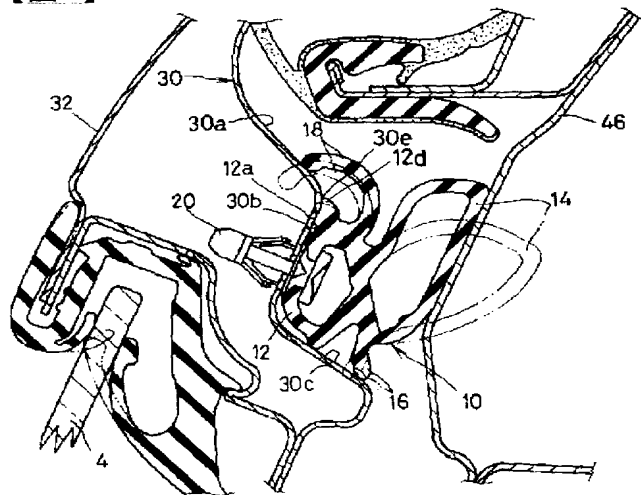
【図4】



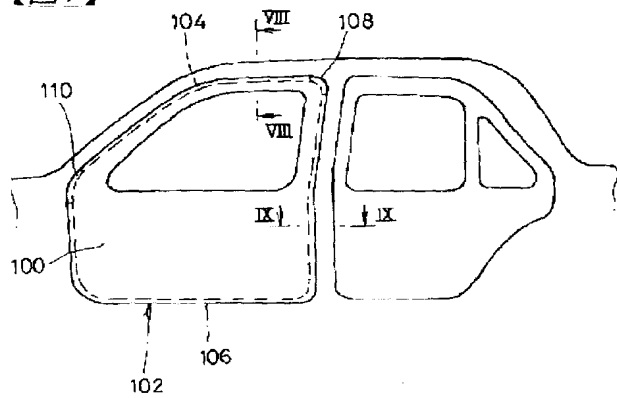
【図5】



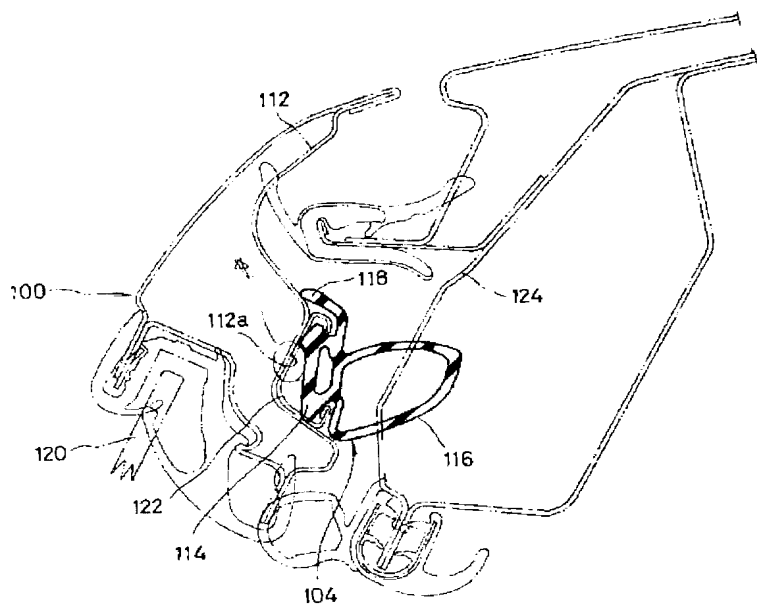
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

